第８号様式（第７条関係）

令和8 年 8 月 12 日

戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書（SDGs 応援事業補助）

（宛先）
戸田市長

団体名　　戸田市児童合唱団
代表者職・氏名　　大野　織絵
所 在 地　[redacted]

事 業 名	子供たちが合唱を通して成長していくための合唱事業
実施期間	令和８年　６月　25 日　～　令和８年　７月　31 日

1　事業の具体的内容及び SDGs の成果

〇合唱ミニコンサート
日程：令和８年７月４日（土）
時間：11：30～12：00
対象：どなたでも
会場：プリムローズホール
定員：なし
参加費：無料
指導者：指揮　金田典子　　ピアノ　岩波佳代子
実施体制：当会会員８名

観覧者：延べ 60 人（目標 50 人）
当日は、久しぶりに雨の降らない週末ということもあり、室内施設であるプリムローズへ来た人は決して多くはなかった。その中でも、コンサートの歌声を聴いて、足を止めて聴いていってくれた人は一定数いて、リズムに合わせて一緒に体を動かしたりして楽しんでもらえた。最後に、観覧者も一緒にステージに上がって歌うコーナーでは、数名の子どもがステージに上がり、子供同士の笑顔も見られ楽しんでくれた。団員と当日飛び入りした参加者が一緒に手をつないでリズムを取りながら歌うシーンもあり、歌を通じて心を通わせることができた。

内容：プリムローズに遊びに来た子供たちに合唱を披露する。
　　戸田市児童合唱団に興味を持ってもらうとともに、知っている曲を聴いたり一緒に歌ったりして楽しんでもらう。

SDGs 目標 10「人や国の不平等をなくそう」目標 17「パートナーシップで目標を達

成しよう」について

国籍や背景の異なる子供たちが、一緒になって歌を歌うという取り組みができた。その中で、自然とお互い手を取り合ったり、笑顔になったりという様子が見られ、心のつながりを感じられた。歌を歌うことを通じて、お互いの絆を感じることができた。初めて参加するお友達に対して、思いやりをもって受け入れることができた。

今回、一人で遊んでいた様子の小学生が聴きに来てくれたり、様々な子供らが一緒にステージで歌ったりすることができた。このような取り組みを続けていく事で、いろいろな状況の子どもたちの居場所となっていく事が出来ると思う。

○無料体験レッスン
日程：令和8年7月11日（土）
時間：10：00～12：00
開場：新曽福祉センター　音楽室
対象：3歳以上の方
定員：20人
参加費：無料
指導者：岩波佳代子
実施体制：当会会員6名

7月11日　無料体験レッスン
参加者　2名（目標15人）
参加者は2名と少なかったが、その分一人ひとり丁寧に発声の練習をしたり、その子の知っている曲を一緒に歌ったりと、きめ細やかな対応をすることができた。未就学2名の体験だったので、ゆっくりとしたペースで、予定の「スイミー」の他にも歌えそうな曲を一緒に歌った。振り付きの歌など、一緒に楽しんで合唱を体験できた。

内容：合唱に興味のある子供たちに、無料の体験レッスンを提供。
子どもたちの良く知っている絵本「スイミー」を、合唱曲として一緒に歌ってみる体験会。音楽劇的な要素も加えて、音楽で「スイミー」の世界を楽しんでもらう。

SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」
体験者も、基本的な発声から練習することができ、またみんなで一緒に歌ったり振り付けをやったりすることで、合唱というものを楽しむことができた。
事業を通して、団員の子が体験者に対して、一緒に振り付けを教えながらやったり、楽譜の見るところを教えてあげたりと、他者への思いやりを持ったコミュニケーションをとる様子が見られ、成長を感じた。体験者の子も、皆で声を合わせて歌うという経験をし、周囲と合わせて歌うことを学んでいった。

2　事業実施のスケジュール

月　日	内　　容
7月4日	プリムローズ合唱ミニコンサート
7月11日	児童合唱団無料体験レッスン
7月18日	反省会

3　事業の実施体制

〇7月4日　プリムローズミニコンサート
当会会員　8名　保護者8名
指導者　指揮者1名　ピアノ伴奏者　1名
〇7月11日　無料体験レッスン
当会会員6名　保護者4名
指導者　ピアノ伴奏者1名

4　反省点と課題

プリムローズでのミニコンサートは、観覧者とともに楽しむ形で、いい催しができたと思う。しかし、そこから「合唱体験レッスン」につなげることができなかった。参加者が少なかった。普段訪れることがない福祉センターの音楽室は、体験者にとって敷居が高く参加しにくかったと思われる。次回は、児童センターのような普段から子供が訪れる場所での開催を目指したい。プリムローズでのミニコンサートのようなものを、より参加者が合唱を体験するような形に変えていく事も考えても良い。
より多くの子どもたちが、より気軽に合唱を体験できる企画を考えていきたい。
周知の方法としては、SNSでの発信やチラシの配布などを行った。今後、プリムローズなど施設とタイアップして、施設からも発信してもらう方法もやっていけたらよい。

≪収支報告書≫

【収入】　（円）

科目		予算額 ①	収入額 ②	比較 (②－①)	内訳
補助金・助成金	当補助金	50,000	44,525	−5,475	
	その他	0	0	0	
自己資金		14,000	0	14,000	
会費（参加費等）		0	0	0	
利用者負担金（売上等）		0	0	0	
協賛金・寄附		0	0	0	
その他					
合計		64,000	44,525	−19,475	

【支出】　（円）

	科目	予算額 ①	支出額 ②	不用額 (①－②)	内訳
補助対象経費	謝礼金	30,000 円	25,000 円	5,000 円	7/4；8,000 円×2 人 7/11；9,000 円×1 人
	印刷製本費	4,000 円	4,344 円	−344 円	楽譜・チラシ印刷代（ボランティアセンターにて）
	消耗品	30,000 円	15,181 円	14,819 円	コピー用紙、ファイル、ノート、製本用文具、小道具など
	小計	64,000 円	44,525 円	19,475 円	※支出額内訳 補助金充当額：44,525 円 自主財源：0
補助対象外経費		0	0	0	
	小計	0	0	0	
合計		64,000 円	44,525 円	19,475 円	